

次世代施設園芸導入加速化支援事業評価表

評価年度	コンソーシアム名	成果目標	計画時		実績		削減率	評価結果	備考
			計画時	実績	削減率				
2018年度	富山スマートアグリ次世代施設園芸拠点整備協議会	整備地区において、地域資源を活用したエネルギー利用による温室の加温に係る化石燃料使用量を5年間で概ね3割削減する	12,000 L/10a	25 L/10a	100%	目標達成			
2018年度	宮崎中央地域次世代施設園芸団地運営コンソーシアム	整備地区において、地域資源を活用したエネルギー利用による温室の加温に係る化石燃料使用量を5年間で概ね3割削減する	10,339 L/10a	866 L/10a	92%	目標達成			
2019年度	北海道次世代施設園芸コンソーシアム	整備地区において、地域資源を活用したエネルギー利用による温室の加温に係る化石燃料使用量を5年間で概ね3割削減する	3,722,126 kWh	4,412,272 kWh	-19%	目標未達のため改善の指導を行った	未達の理由:栽培管理上、温室内の気温を高く保つこと、融雪のためのヒーター稼働の必要が生じたことによる。		
2019年度	富士小山次世代施設園芸推進コンソーシアム	整備地区において、地域資源を活用したエネルギー利用による温室の加温に係る化石燃料使用量を5年間で概ね3割削減する	500 kL	145.5 kL	71%	目標達成			
2019年度	兵庫県次世代施設園芸モデル団地運営協議会	整備地区において、地域資源を活用したエネルギー利用による温室の加温に係る化石燃料使用量を5年間で83%削減する	1,227 L/t	208 L/t	83%	目標達成	※評価年の5年目においてボイラーエラー故障のため4年目の数値で評価		
2019年度	次世代型こうち新施設園芸システム推進協議会	整備地区において、地域資源を活用したエネルギー利用による温室の加温に係る化石燃料使用量を5年間で90%削減する	471 kL	267 kL	43%	目標未達のため改善の指導を行った	未達の理由:地域エネルギーとして利用しているおが粉の價格が高騰し、確保が難しくなったことによる。		
2019年度	大分県次世代施設園芸推進協議会	整備地区において、地域資源を活用したエネルギー利用による温室の加温に係る化石燃料使用量を5年間で概ね3割削減する	668.1 kL	0 kL	100%	目標達成			
2020年度	石巻次世代施設園芸コンソーシアム	整備地区において、地域資源を活用したエネルギー利用による温室の加温に係る化石燃料使用量を5年間で概ね3割削減する	523 kL	369 kL	29%	目標達成			
2020年度	埼玉次世代施設園芸コンソーシアム	整備地区において、地域資源を活用したエネルギー利用による温室の加温に係る化石燃料使用量を5年間で概ね3割削減する	36.5 kL/10a	8.3 kL/10a	77%	目標達成			
2020年度	愛知豊橋次世代施設園芸推進コンソーシアム	整備地区において、地域資源を活用したエネルギー利用による温室の加温に係る化石燃料使用量を5年間で概ね3割削減する	357.7 kL/年	193.5 kL/年	46%	目標達成			